

2025年12月

加藤悦生監督：赤い羽根共同募金応援メッセージ

映画「メモリードア」を制作するにあたり、私は実在する「認知症カフェ」を取材しました。そこは、困難を抱える人々が互いを認め、支えあう場所でもありました。翻って私たちが住む社会においても、支えあう仕組みがあり、その一つが「赤い羽根共同募金」です。多くの方々の善意が募金という形で集められ、支援を必要とする様々な施設・団体に届けられています。主人公の令子が患う若年性認知症の支援活動にも、赤い羽根共同募金が役立っていることを知りました。

社会における一つの「愛」の形。そんな「赤い羽根共同募金」を私は応援しています。



加藤悦生監督